

令和6年度 学校評価の結果について〔自己評価…職員・保護者・児童 学校関係者評価…学校運営協議会委員〕

	評価指標	評価項目 【自己評価の結果】 職：職員、保：保護者、児：児童	自己評価 (4段階)	学校関係者評価 (10段階)	学校運営協議会委員の意見 ○よい点 ●改善 ☆要望・意見等
知	○ 基本的な学習習慣の定着・学習意欲の向上 ○ 確かな学力の育成	① 基本的な学習習慣を定着させ、学習意欲・読書意欲を向上させます。 【職3.0 保3.2 児3.2】 (職3.0 保3.1 児3.1) ※()は令和5年度 ② わかる、できる、伸ばす授業づくりに努め、学力を向上させます。 【職3.3 保3.2 児3.4】 (職3.1 保3.2 児3.3)	3.2 (3.1) ※()は令和5年度	7.9 (7.9)	○児童が授業に対して積極的に取り組んでいる姿が見られ、学校全体を見てもよい雰囲気学校運営ができていると感じました。 ○どのクラスも落ち着いて授業に臨んでおり、いつも感心しております。宿題のチェックなど大変かと思うのですが、おかげさまで、学習習慣の定着や学力の向上に繋がっていると感じております。いつも丁寧なご指導、ありがとうございます。 ○どの学年もタブレットを活用しての授業が進められているなと思いました。授業態度も落ち着いていると感じました。 ○授業態度にはいつも感心しています。どの学年も学びについての意欲がとても強く感じられます。 ☆タブレット等、ICTを活用しての授業の展開を見て、児童の活用能力の高さも年々良くなってきていると思いますが、板書や資料の工夫の大切さも感じています。 ☆学習の遅れ気味の子どもに対し、地域の教員経験者等の方々にボランティアとして、学校応援団の指導体制をつくり、公民館等を利用して取り組むことも良いのでは。 ☆タブレットを使用している様子を見る頻度が昨年度より増えたように感じます。タブレットを用いた学習について、1年生からローマ字入力ができる方が、後々のことを考えると効率的だと考えております。ローマ字入力について通常の授業に組み込むことは難しいかもしれませんが、ローマ字入力表を配布し、各家庭の判断でローマ字入力の練習をすることは可能ではないでしょうか。ただ、かな入力とローマ字入力の子どもたちが混在してしまい、ご指導される先生方の負担になる可能性があるのであれば、本意ではありません。 ☆先生からの一方通行だけでなく、グループワークなど、子どもたち同士で、分からないところ教え合ったりするともっと子ども達の学力も伸びるのではないかと思います。 ☆デジタルの活用は、生徒にも教師にも定着しているように感じました。学習意欲を喚起し、学力の向上につながることを期待します。デジタル化に遅れたり、健康被害の生徒が出ないように注意する

					ことも大切なことと思います。 ☆低学年からタブレットを使いながらの授業に感心して参観をさせてもらっていますが、視力の低下の心配が少しあります。 ☆教師不足の弊害を心配します。 ☆読書習慣を身に付けさせてほしい。「読書」で名だたる祝吉小学校に。
徳	○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 心の教育の充実	① 基本的な生活習慣を身に付けさせます。主に：あいさつ、右一静歩、無言の場 【職3.1 保3.3 児3.4】 (職2.9 保3.3 児3.3) ② 心に響き合う道徳教育の充実に努めます。主に：生命尊重、思いやり、言葉遣い、ボランティア 【職3.3 保3.3 児3.5】 (職3.1 保3.2 児3.5)	3.3 (3.2)	8.1 (8.1)	○落ち着いた雰囲気の中で、規律ある生活ができていると思います。 ○公園等で、挨拶してくれる生徒に会ったり、先輩と後輩が仲良く遊んでいる姿を見ると嬉しくなります。 ○挨拶の声や態度が、昨年と変わってきている事に気付きました。とても嬉しく思いました。 ○元気に挨拶してくれる子どもが昨年度より増えました。ハンドアップマイスターの取り組みも大変素晴らしいと思います。移動中や給食の準備、掃除の時間など、授業以外の時間も子どもたちが整然としていること、靴箱や教室のランドセル、廊下の道具入れなどがいつも整っていること、本当に感心しております。自己有用感を高めるためにも保護者はもっと子どもたちを褒めてあげる必要があると感じております。 ○挨拶はとてもよくできる子どもたちです。 ○横断歩道で止まってくれた車に必ず挨拶をしているのをよく見かけます。とても素晴らしいことだと思います。小学校だけでなく中学校に進学しても続けて欲しいなと思います。 ○トイレがいつもきれいに整理整頓されており、授業態度も規律、友愛という点でレベルの高さを感じます。 ☆「祝吉地区は子どもが元気！」を目指し、学校外においても地域のイベント(夏祭りや高齢者とのグランドゴルフ等)に積極的に参加し、元気なまちづくりの一翼を担い、ボランティア精神、他人を思いやる学校像の達成も願っています。 ☆生徒指導は学校だけではできません。子どもを真ん中にし、地域をしっかりと巻き込んだ取組が必要です。いろいろな相談や支援ができる人材バンクやマップ等で、保護者が気軽に相談等ができることも工夫の一つだと思います。 ☆「命を大切にする」学習を促進してほしい。いじめ等防止のためにも。

体	○ 体力の向上 ○ 自己管理能力の育成	① 運動の日常化に努め、体力を向上させます。 【職3.1 保3.3 児3.5】 (職3.0 保3.2 児3.4) ② 健康管理(歯科衛生、立腰指導等)に努めます。 【職2.9 保3.2 児3.5】 (職2.7 保3.1 児3.6)	3.2 (3.2)	7.6 (7.0)	○昼休みに全学年校庭で遊べるようになったとのこと、大変嬉しく思います。先生方も一緒に遊んでくださって、子どもたちが楽しそうにしている姿が印象的でした。運動会や長距離走ではみんな最後まで諦めず走り、自主的に伴走している子どもたちに感動しました。この調子で、子どもたちの体力が向上していくことを願います。 ○体力についての細かい事は分かりませんが、運動会を見せていただいた時、こける児童がいなかった事に体力があるなど感じました。動きも機敏で気持ちよく嬉しく思いました。 ○制限された運動会でも、力を振り絞って競技している生徒たちに感動しました。 ●自転車に乗っている子どもたちのヘルメット着用率が低いように思います。また、一時不停止や飛び出し、無理な横断など危ない運転をしている子どもにたまに遭遇します。命を守るため、交通ルールについては今以上に指導していく必要があると感じます。 ●登下校の様子を見ていると、もう少し安全な行動ができないかと心配です。自他の命を守る意識の向上が必要だと思います。 ●体力向上は毎年の課題のように思います。 学校だけでの取組では解決できない問題なのではとも思います。家庭でも子ども達が思いっきり体を動かす機会を作る事が必要なのではと思います。 ☆大地震や異常気象が心配される昨今、防災や避難等の「身を守る力」、どんな困難にも「負けない力」を心身ともに育むことも大切だと思います。 ☆運動する子どもとしない子どもの二極化により、体力レベルの個人差が生じている状況において、家庭や地域との連携を図り、効果的な体力向上の取組を考えるべきでは。 ☆防災意識を高めるため、被災経験者の体験談を聞く場を設けてはどうか。(例えば、熊本地震で被災された方の話など)
ふるさと	○ 郷土愛につながる祝吉小学校ならではの教育活動	① PTAや地域の行事及び体験的活動(ふるさと教育)の推進と充実に努めます。 【職3.2 保3.2 児3.3】	3.1 (3.2)	8.0 (7.6)	○地域の行事にも積極的に参加してくれます。(例えば、まつりや六月灯、餅つき等) ○行事の中での児童が元気よく喜んで参加してくれていると地域の住民も喜びを分かち合えるようです。 ○校区内のすばらしい人材や場所を活用し、校区や都城市の良さを認識し、誇りをもつような活動でこれからも続けていって欲しいと思います。 ○まちたんけんやミシンの指導、授業参観時の未就学児の預かり、ふるさと先生、10歳のハローワー

ふ る さ と		(職3.3 保3.2 児3.4) ② 夢や希望を育むキャリア教育の推進、家庭や地域との連携に努めます。 【職3.1 保3.0】 (職3.0 保3.0)		クなど、いつも子どもたちのためにお力添えくださる地域の方々に感謝しております。また、地域の方々から子どもたちのことを褒めていただくことが多く、大変ありがたく思います。今後とも学校・地域と協働して、子どもたちにより良い環境を作れるよう PTA としても尽力してまいりますので、要望などございましたら、遠慮なくお知らせください。 ○子ども達に自分の住んでいるところがどんなところで、どんな人がいる、地域の事を知る事ができる様々な活動があってとてもよい取組だと思います。 ○あやめ祭りや六月灯、ふれあい文化祭など、sigfy で配信してくださったので、自治会や育成会に入っていない保護者も地域のイベントを知ることができ、多くの子どもたちが参加したのではないかと思います。 ○祭りや敬老会等、地域の行事に積極的に参加し、楽しんでいる生徒たちを多く見かけます。行事の少ない地域は寂しい限りです。 ☆祝吉地区のミニバレー大会において、小学生チームや保護者、教員チームが参加すれば、地域との連携も効果があるのでは。 ☆教職員や保護者、学校評議員等と地域人材候補者との信頼関係構築を図る取組も大事に思う。 ☆教師に負担を掛けない工夫をして、地域との連携を発展させてほしい。地域は、子どもの生活の基盤であり、社会的な生き方を伝える舞台だと思います。公園等で遊ぶ子どもたちは、学校と違った生き生きとした姿を見せてくれます。
------------------	--	---	--	--